

5)その他の病気

尿道狭窄(きょうさく)、急性精巣上体炎、包茎(仮性・真性) 亀頭包皮炎、陰のう水腫、精系静脈瘤、ED(勃起不全)、精巣回転症、陰茎折症、精巣癌、停留精巣などの病気があります。

4. 女性に多い病気

1)急性膀胱炎

終末時排尿痛、頻尿、尿混濁が症状ですが、発熱はありません。通常、3日間の抗菌薬内服で治療します。



2)腹圧性尿失禁

咳、くしゃみ、急に立ち上がった時、重いものを持った時などに尿が漏れることで、30歳以上の女性の1/3には起こるものです。恥ずかしがらずに気軽にご相談ください。

骨盤低筋群訓練、薬物療法、干渉波治療などで改善します。

3)神経性頻尿

器質的には病気がなく、尿が近くなります。更年期障害の一症状、思い違い、精神的なものが多い症状です。症状が頑固な場合は補助的に薬物を使う場合があります。

4)遊走腎

夕方に腰がだるく痛くなります。長時間の立位で腎臓が下降したことにより、尿の通過が悪くなるために起こる症状で、内臓下垂を伴っています。体質改善で軽快します。

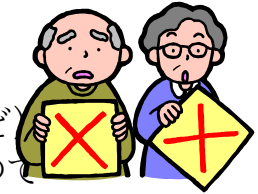
5)その他の病気

急性腎盂腎炎、尿道カルクラ、膀胱脱・子宮脱、バルトリン腺膿瘍、膀胱膿瘍、尿管膿瘍など

5.男女ともに見られる病気・症状

1)肉眼的血尿

他に症状の無い場合は、約1/2に泌尿器癌(腎癌・腎盂尿管癌・膀胱癌など)がありますので、すぐに受診してください。血尿は自然に止まることが多いので放ってしまう場合が多いですが、数ヶ月後に2回目の血尿が起こった場合は、進行癌になっている場合が少なくありません。早期発見早期治療が鉄則です。早期癌は治療法の選択肢が多く、治療率の高いものです。残りの1/2は突発性腎出血、腎結石、放射性膀胱炎、IgA腎症など良性疾患が多いものです。



2)尿路結石

腎結石、腎盂・尿管結石、膀胱結石、尿道結石がありますが、腎盂・尿管結石は非常に激しい痛みが側腹部から腰部にかけて起こり、吐き気も伴います。救急で受診し、痛みを抑えてから結石の大きさ、位置を検査し、治療にあたります。小さな結石は自然排石が原則ですが、大きな結石の場合は、体外衝撃波結石粉碎手術などで治療いたします。

3)その他の病気

神経因性膀胱、腎のう胞、放射性膀胱炎、慢性膀胱炎、副腎腫瘍、後腹膜腫瘍、腎血管性高血圧などの病気があります。

6.恥かしがらずに気軽に受診しましょう！

泌尿器科というと「ちょっと恥かしいな」という気持ちでついつい遠のいてしまう方が多いと思います。泌尿器科外来は、プライバシーの保護には特に気を使って診療しています。排尿障害は、けっして恥かしい病気ではありません。一人で悩むのは止めて、思い切って医師に相談してみましょう。適切な治療を行えば、精神的にも身体的にも楽になって、旅行やスポーツなど活動的で楽しい生活を取り戻すことが可能です。